

「赤旗」日曜版 スcoop 「桜」前夜祭に新たな重大疑惑

安倍氏側酒持ち込み提供

安倍元首相が「桜を見る会」前夜祭の会場に大量の酒を持ち込み、有権者らにふるまっていた——桜を見る会をめぐる新たな重大疑惑を「しんぶん赤旗」日曜版（5月29日号）がスクープしました。

日曜版編集部は、東京地検に前夜祭をめぐる事件記録の閲覧を請求。開示された文書の中に前夜祭会場のホテル職員が作成した「宴会ファイル」（2017年～19年分）が

安倍氏側が地元有権者らに酒を提供

安倍氏側が会場に持ち込んだ酒と本数が新たに判明 これまでに判明しているホテルへの補てん額

ウイスキー…30本	2017年	186万 860円
赤ワイン…24本		
白ワイン…24本		
焼酎…12本		
ビール…80本	18年	144万9700円
ウイスキー…30本		
赤ワイン…24本		
白ワイン…24本		
焼酎(720 ^{ミリリットル})12本		
ビール500 ^{ミリリットル} 20本	19年	250万7732円
ウイスキー…42本		
赤ワイン…24本		
白ワイン…24本		
焼酎…12本		

刑事確定記録から「赤旗」日曜版編集部が作成

毎年サントリーから無償寄付受け

あり、前夜祭で安倍事務所側が会場に持ち込んだ酒の種類や本数が詳しく記されていました。（右上の表）

酒はサントリーが無償提供。サントリーは、金額について「15万円程度」と説明しています。サントリーから

の寄付は違法な企業献金に当たる可能性があります。前夜祭をめぐる、安倍氏側が会費を上回る費用を補てんしていたことが判明しています（表）が、安倍氏側の有権者への利益供与は酒の提供も加えたものだったこととなります。

折り目

消費税減税・インボイス中止

共産党が法案提出が大門氏



物価高騰下、政府に迫る

法案を提出する共産党参院議員（右端は大門参院議員）は5月30日、国会内

日本共産党国会議員団は5月30日、「消費税減税・インボイス中止法案」を参議院に提出しました。

同法案は、消費税を5%に減税するとともに、インボイス制度（別項）の導入を中止するために講ずべき措置を政府が定めるものとしています。

大門みきし参院議員は会見で「かねてから消費税減税を

国会質問などで求めてきたが、物価高が国民の暮らしを大変苦しめている状況のなか、さらに強く政府に減税を求めるという位置づけで提出した」とのべました。また法案提出を立憲民主党、れいわ新選組、碧水会、沖縄の風に伝えたとし、「野党共闘の道も探っていきたい」とのべました。

商品ごとに消費税率と消費税額を記した請求書のこと。消費税の免税業者とされている中小企業やフリーランスの人たちが取引先

インボイス

からインボイスの発行を求められた場合、課税業者になることを半ば強制される制度。2023年10月から導入予定。

制度解説

参院選挙投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

近畿民報

2022年6月 No.1 (第505号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。